

平成 21 年度 2 月補正予算案の概要

平成 22 年 2 月
宮 城 県

予算編成の考え方

今回の補正予算は、雇用対策、教育施設改修など緊急の追加需要に対応するとともに、国の第二次補正予算成立に伴う「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」を活用した事業のほか、地域医療再生臨時特例基金の造成及び緊急雇用創出事業臨時特例基金などの積増しについて計上

また、国の第一次補正予算関連事業を含め、歳出予算の執行額や国庫補助金等の額の確定に伴う計数整理等を行うもの

歳入予算では、「第 3 期財政再建推進プログラム」で想定している次年度以降に生じる財源不足の解消を図るため、減収補てん債を最大限発行し、財源調整のための基金を確保

予算規模

(単位：百万円，%)

| | 1 1 月現計予算 | 2 月補正予算 | 2 月補正後予算 | 2 月補正後予算対前年度増減率 |
|---------|-----------|---------|-----------|-----------------|
| 一般会計 | 894,483 | 3,742 | 890,742 | 7.4 |
| 特別会計 | 211,057 | 2,490 | 208,568 | 6.8 |
| 準公営企業会計 | 23,582 | 952 | 22,630 | 5.1 |
| 公営企業会計 | 53,272 | 887 | 52,386 | 30.4 |
| 計 | 1,182,396 | 8,070 | 1,174,326 | 4.5 |

四捨五入のため積み上げと計の一致しない箇所がある

【一般会計補正予算の状況】

歳入

- ・ 県税は、当初見込みを若干下回り 14 億円の減額
- ・ 地方譲与税は、その原資となる地方法人特別税が大きく落ち込んでいることから地方法人特別譲与税が 31 億円の減額
- ・ 財産収入は、株式売却の取止め等により 5 億円の減額
- ・ 繰入金は、財源調整のための基金からの取崩しの取止め等により 151 億円の減額
- ・ 一方、国庫支出金は、国補正予算に基づき各種基金への積立て原資となる交付額等が大幅に増額されたことなどにより、181 億円の増額

歳出

- ・ 義務的経費は、79 億円の減額。扶助費が 2 億円の増額、人件費は人事委員会勧告に基づく期末手当・勤勉手当の支給割合の引き下げ等により 68 億円の減額、公債費は 14 億円の減額
- ・ 投資的経費は、62 億円の減額。国の第二次補正予算で交付される「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」を活用した事業を 37 億円増額する一方、公共事業の国庫内示額の確定等により 99 億円の減額
- ・ 一般行政経費（県税交付金等も含む。）は、積立金を除くと節減等を含め 117 億円の減額
- ・ 積立金は、220 億円の増額。次年度以降の財源不足に備え県債管理基金に 49 億円、国補正予算に対応して造成した各種基金に 171 億円の積立て